



よさの乗合交通の本格運行を開始



自分ごと化会議を初開催



子育て医療支援を高校生相当年齢まで拡大

特集

令和6年度

決算報告

令和6年度決算が9月定例会において、全会計とも承認されました。普通会計※の令和7年度への繰越財源分を差し引いた純繰越額（実質収支）は、7,058万円の黒字となりました。今月号では、令和6年度の決算を7つの視点からお知らせします。

図 企画財政課 ☎ 43-9015

※ 普通会計 … 一般会計に宅地造成特別会計と土地取得特別会計を加えたもの

12 普通会計 歳出

人件費が増加、公債費は減少

歳出総額は120億2,902万円となり、前年度と比較して2億6,622万円増加しました。人件費は、人事院勧告や会計年度任用職員報酬の勤勉手当の支給開始などにより、全体で1億8,905万円増加しました。投資的経費は、学校給食センター施設整備が増加となりましたが、その他の事業が減少し、全体で1億4,389万円減少しました。公債費は、1億3,713万円の繰上償還を実施した前年度と比較して、2億9,409万円減少となりました。今後とも、厳しい財政状況が続くことが見込まれる中、第3次与謝野町行財政改革大綱に基づき、持続可能な行財政基盤の確立をめざします。



1 普通会計 歳入

定額減税により町税は減少、町債の借り入れは過去最小額

歳入総額は121億1,259万円となり、前年度と比較して2億4,807万円減少しました。町税は、定額減税の実施によって所得割などが減少し、全体で9,309万円の減少。普通交付税は619万円、特別交付税は1,242万円増加し、地方交付税総額で1,861万円の増加となりました。町債は、投資的経費の減少により1億6,040万円減少の5億1,128万円と過去最少額となりました。基金繰入金は、地域振興基金から7,980万円を繰り入れるなど、総額で1億992万円を繰り入れました。

決算および主な事業の詳細は、町ホームページからご覧いただけます。



- 物価高騰対策生活者支援事業 1億2,533万円
- 定額減税調整給付事業 1億6,178万円
- 商工会助成事業 3,082万円

物価高騰対策関連事業

- 行政マネジメント推進事業 3,905万円
- 地域協働推進事業 3,245万円

住民が主人公となるまち

- 地域内公共交通確保維持事業 2,529万円
- よさの住環境改善省エネ家電買い換え事業 3,990万円

美しく住みやすい 安心安全なまち

- 学校給食センター整備事業 1億1,128万円
- 高校魅力化推進事業 4,555万円

魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち

- 子育て世代包括支援センター事業 3,171万円
- 認定こども園施設整備事業 9,070万円

つながりで笑顔をもたにつむぐまち

- 認知症総合戦略推進事業 1,166万円
- 障害児通学支援事業 4,011万円

みんなが自分らしく幸せに生きるまち

- 移住定住支援事業 1,998万円
- 分譲宅地管理事業 2,755万円

地元を誇りにおもい、人の流れを生むまち

- 産業振興事業 1,314万円
- 自然循環農業推進事業 1,251万円

一人ひとりが個性をいかし安心して働けるまち

第2次与謝野町総合計画で掲げた7つの分野別方針に基づき取り組んだ事業を紹介します。

令和6年度の主な事業